まゆっこ

2021年 秋号
（2021.10）

ゾーン・サポートきぬの郷
多機能型通所支援事業所：　まゆ
保育所等訪問支援事業所：　つむぎ
相談支援事業所：糸ぐるま

夏の猛暑からお盆に梅雨のような長雨、そして長雨が終わり台風が日本を横断した後、陽気はすっかり秋になった感じがします。

そんな中、天気の良い日に利用者様と戸外散歩に出かけると春に植えた日々草が咲き、稲も実をつけるくらい育ってもうすぐ稲刈りができるくらいになり、さつま芋の苗も長く伸び掘り出せる感じになったと思います。それらの作物を見ていると収穫が楽しみになります。

また夏にトマトの収穫を行いました。トマトを真剣に収穫する方がいたり、手にトマトが触れると笑って喜ぶ方がいたり、「何だこれは？」という感じのリアクションをとる方がいたり、トマトに触れることを怖がる方もいらっしゃいました。

まだ新型コロナウイルスの影響があるので、様々な対策をとって気をつけて行動しながらも、コロナ禍が落ち着いたらもっと自由にいろんな所へ動き回りたいなと感じています。

支援員　市川　透

稲と日々草

夏の暑さも和らぎ、秋の気持ちの良い風が感じられるようになりました。朝夕はだいぶ涼しくなりましたので、体調管理には十分気を付けてお過ごしください。

さて、きぬの郷では敬老の日のプレゼント制作として紙粘土を使って花瓶を作りました。こねた紙粘土を空の容器につけてビーズやタイルで装飾し、絵の具で色づけしました。個性豊かで素敵な作品ができました。制作中に利用者様から「懐かしい、学生の頃を思い出す。」「不思議な感触」「指の運動になる」といったお話が出て、表情やしぐさからも楽しんでいる様子が伺えました。制作を通して普段とは違う一面が見られる事をとてもうれしく思います。

新型コロナウイルスの影響で外出する機会が減ってしまいましたが、利用者様に少しでも楽しく過ごしてもらえるよう努めていきます。

看護師　山田由香利

花瓶制作の様子

ハロウィン制作

稲刈り

トマトの収穫

誕生日会

スイカ割り